

ふるさと わがまち わが地域

弥栄町 黒部地区



公民館：京丹後市弥栄町黒部3044番地
電話：0772-65-2022
(FAX 兼用)

地区概要

国道482号を北上し、弥栄町溝谷を通過。府立峰山高校弥栄分校付近からが黒部区になります。世帯数260、人口743名(平成26年6月末現在)の弥栄町では、比較的大きな地区で、ほぼ中心部に黒部公民館(黒部区事務所併用)があります。

名前の由来(深田村と黒部)

深田村は黒部、船木、小田、国久、井辺の5集落からなり、その名前の由来は深田部神社名記によると、当地の近辺往古は、海原であったのが、漸次湖の水が引き、その跡が深い沼田となったので、自然に深田と呼んだのが地名となったと記してあります。
また、昔は黒部を春部の里といった。春部を玄部(はるべ)と書いたのが、クロ部と読み誤り、今は文字も黒と書くようになったと伝えられています。



旧黒部小学校より黒部区中心部を望む



2014年3月 140年の歴史に幕を閉じた旧黒部小学校。
1978年1月に完成。東京大学をイメージした時計塔が珍しかった。

地区の特徴

○黒部銚子山古墳、奈良遺跡、弥生時代の竪穴住居跡、古代のローマンあふれる黒部の里。

○東西南北に広がり、東に金剛童子・小金山と弥栄の主峰や、60町歩の水田が一望でき、雄大なパノラマがひらける絶景の地区です。

○府立農業研究所の果樹園の桃・梨の花咲く時季の美しさみごと。



黒部公民館



黒部銚子山古墳

国道482号と国久橋へ向かう市道との交差点付近から約100m東側に位置し、全長105mの大型の前方後円墳で、昭和58年に京都府指定の史跡となりました。これまでに発掘調査は行われていませんが、現在採取されている埴輪片から推定すると、製造された年代は、古墳時代中期前半と考えられます。埴輪の特徴が畿内で見られるものと酷似しているため、丹後と畿内との関わりを考える上でも貴重な古墳です。京丹後における巨大前方後円墳としては、国指定史跡の網野銚子山古墳(網野町)と神明山古墳(丹後町)があります。



子安地藏

万寿山福昌寺

本尊 釈迦如来 曹洞宗 長禄年間 (1457年～1461年)
然巖春泰大和尚開山 久山和尚開基



十三仏石塔

塔上部に梵字で、死後の法要を表す13の仏を、下部に、享保4年(1531年)7月19日の記銘と6人の名が刻まれている。高さ2m、幅53cm、厚さ40cmと、まれにみる大きさである。足利末期、明日をもわからぬ戦乱時代に、死後の法要を生存中に自分で行なえば、その功德のすべてが自分のものになるとの風習があった。生存中に死後の法要を行うので「逆修」ともいい、十三仏石塔を逆修塔ともいわれています。本堂の裏にある先祖墓の奥に建塔されています。



山門

三間一戸、入母屋造、重層。文化元年(1804年)の建立で元棧瓦葺。大工棟梁は間人(丹後町)の中江弥三郎。上層正面の両脇間に円窓をあげ、通路上部の虹梁には派手な絵様彫刻が施されています。



拝殿



本殿



深田部神社

祭神 宇気母智神(豊受大神)、八幡大神、天児屋根命(春日大神)、
天照皇大神 岡山県上道郡幡多村(昭和29年4月1日岡山市に
編入)の深田神社へ分霊。分霊年代は神護景雲二年(768年)。
境内神社
稲荷神社、須賀神社、神功神社、厳島神社、愛宕神社、大宮神社



公民館のすぐそばにある黒部保育所

1991年3月完成。玄関上の採光用窓はステンドグラス風、テラスの軒下を波型に、屋根には室内を明るくするため透明瓦を使用しています。

参考文献 弥栄町の文化財
弥栄町史
時を越えて(弥栄町の40年)

納涼祭



ワイワイ♪ みんな上機嫌です



いつも元気な園児の遊戯



旧黒部小学校で8月に行われました

地区イベント

深田部神社祭り



伝統の神輿の巡行と京都府無形民俗文化財の「黒部の踊り子」



10月の第2日曜日に執り行われました

ふくし祭り

かわいい園児の遊戯はいつも大好評



参加者みんな輪になってゲームの始まり



10月の第4日曜日に公民館で開催されました

行列のできた「かき氷」と「くじ引き」

本殿と姿を見せた拝殿